

夏休み親子教室

生ごみは、「土に返せば立派な資源になる」ことを子どもの頃から知ってもらおうと、夏休みに入っすぐの平成26年7月24日(木)に『ダンボール方式生ごみ(減量化・堆肥化)講習会』を開催しました。今年は、市内在住の子どもたちと保護者、6組13名が参加してくれました。

最初は、緊張気味の子どもたちでしたが、生ごみを投入中の堆肥と熟成した堆肥の違いを手で触れたり、持ち寄った果物や野菜の皮、卵の殻などで堆肥を作っているうちに、徐々にリラックスしている様子でした。

後日、生ごみが出ると喜んで入れに行くようになり、楽しく生ごみが減りましたという声が参加者からあがっていました。(T.A)

◎ダンポスト(家庭用ダンボール製生ゴミ処理器)を使用



～前回の参加者の感想～

生ごみの処理は、今まで色々と試してみました。庭に直接埋めたり、外にダンポストを置いたりしましたが、外に出て、ごみを捨てるのは手間が長続きしませんでした。

そこで、今回は、台所の片隅に置いてみました。近くにあるので生ごみを入れて混ぜるのも簡単ですし、臭いも少なく、虫に刺されるなどの悩みも解決しました。

生ごみを入れ続け1年が経ちました。そろそろ取り替えようかなと思いつつも毎日ごみを入れてしまいます。



世界の窓から

世界の栄養不足人口は、約8億4000万人といわれ、8人に1人がお腹をすかしていることになります。

ハイチも貧しい国で、約5%の富裕層が国の富の半分を所有し、約80%の貧困層が残った富を分け合っています。また、食事について、貧しい人は、1日1食あればよい方で、コーヒー1杯やバナナ1本の日も珍しくないとか…。学校では、給食があっても週に2回程度で豆ご飯の1皿だけという状況が見受けられるそうです。

しかし、日本に目を向けると、毎年、食品関連業者から約714.5万トン、一般家庭から約1,013.5万トン、合計すると約1,728万トンもの食品が廃棄処分されているそうです。

このような世界の現状も踏まえ、「もったいない」の発祥国に住む私たちは、食品ロスについて考えていかなければならないのです。(山田在住のSさん)

参照 農林水産省「平成23年度推計」・ハイチ支援レポート

◎食品関連業者は、1045.5トン分を肥飼料化しています。

編集後記 ～ごみの発電と電力の自由化～

全国的な動きになっているごみ発電。見学に行った平成26年9月5日時点で売電価格は、1キロワット当たり、PPS(大手電力会社とは別の特定規模電気事業者)で約15円とのことであった。従来は電気を消費するだけだったごみの施設が電気を自給自足し、更に余剰電力を売電できるようになったことは感慨深い。都市鉱山の如く私たちの住む社会は、ごみという発電燃料の一大生産地である。2016年、いよいよ一般家庭への電力自由化が始まる。長きに渡って続いてきた独占状態の電力供給システムがガラリと変わる時代に入る。ごみも貴重な電力の燃料となる時代に…。(R.K)



へらすぞう

第19号 2015年3月

あきる野ごみ会議は、市民・事業者・市の3者が協力して活動している団体です。



1日に約55トンのあきる野市から出た可燃ごみ(破碎した不燃・粗大ごみの可燃部分を含む)が新ごみ処理施設(熱回収施設)に搬入されています。

◎収集車では、約23台分に当たります。



23台



1.2台

最終処分場へ

可燃ごみを焼却処理すると全てが消えてしまっていると思いきや…焼却しても、約5%は飛灰処理物として残ってしまいます。

例えば、収集車23台分のごみを燃やすと、残った約1.2台分の飛灰処理物は最終処分場に埋立てなければなりません。(C.S)

飛灰：バグフィルタ(排ガス処理装置)で取れた細かいほこり状の灰やボイラーなどに付いて払い落とされたもの。

私たちに、何ができるだろう。



へらすぞう げん人くん

新ごみ処理施設（ガス化溶融炉）が平成26年4月から本格的にスタートしたよ!!



収集車で施設に運ばれた後、ごみはどうなっていくの？



まず、ガス化炉で可燃ガス、炭、灰に熱分解されるよ。ちなみに、混入してしまった鉄、アルミも資源として回収できるんだ。この熱分解された可燃ガス、炭、灰が溶融炉に送られ、高温燃焼により灰が溶かされ、スラグになるんだ。しかし、最終処分場に埋立てなければならない飛灰処理物はどうしても残ってしまうんだ。



新しい炉に変わって、埋立てもなくなったのかと思っていたよ。



そうじゃないんだよ。このままだと、処分場は30年で満杯になってしまうそうなんだ。



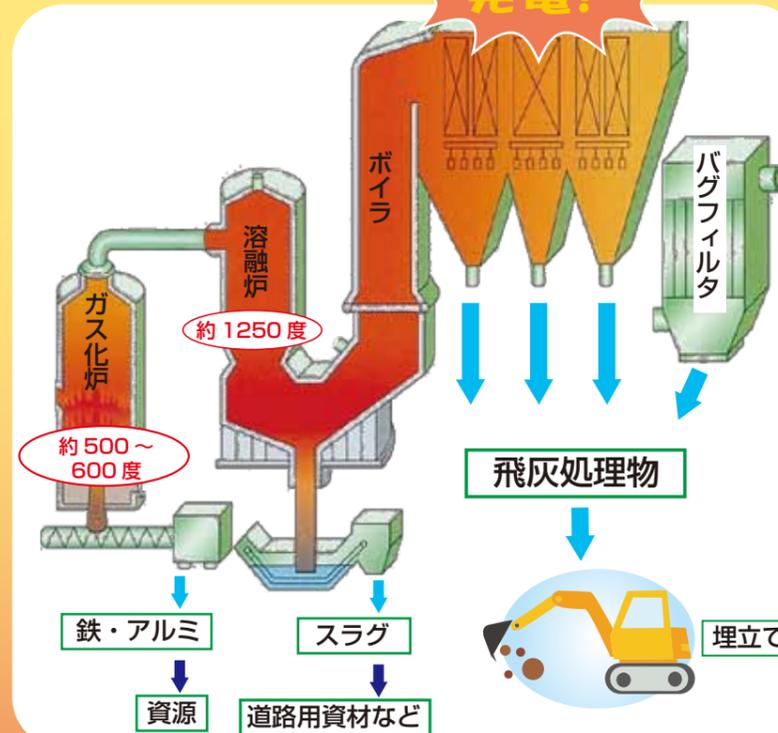
だったら、少しでも長く延命させたいよね。そのために、僕たちが出来ることって、何だろう？



それはね。ごみの量を減らすことと分別をしっかりすることだよ。



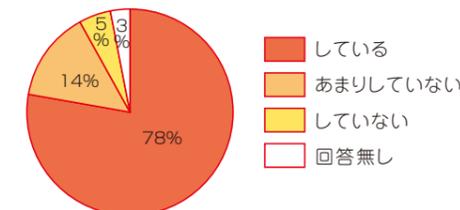
よーし。きょうからもっとごみをへらすソウ。



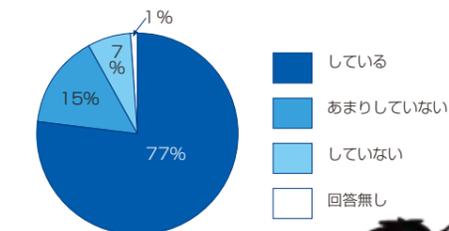
水切りの実施・マイバッグの活用 **約8割**

※ごみに関するアンケート結果（春のリサイクルフェア）

水切りの実施



マイバッグの活用



引き続き、ご協力をお願いします。



新しい分別について

分別方法が変わってから、市役所に問い合わせの多い品目をあげてみました。なお、詳しい分別一覧表は、市のホームページに掲載されています。ホームページが見ることができない方には、印刷したものを市役所3階生活環境課の窓口でお渡ししています。

缶・金属類とびんは、洗ってから別々のバケツなどの容器で出してね!



問い合わせの多いもの	可燃ごみ	不燃ごみ	缶・金属	使用済小型電子機器	粗大ごみ	処理不能
ビデオテープ	○					
ピンのふた	○					
割れたガラスや陶器類		○				
水筒（金属製）		○				
コード		○				
傘		○				
炊飯器（2合炊き以下）		○				
炊飯器（2合炊きを越えるもの）					○	
カーペット（電気含む）					○	
石・土						○
タイヤ（自動車）						○

※新聞紙などにつつま、有料袋に「ガラス・割れ物」などを書いて出してください。
※内部にガラスが入っているものは、不燃ごみです。
※1つ1つに「あきる野市」と表示してください。
※折って柄の部分が有料袋から出なければ不燃ごみです。
※市では引き取りができないので、民間の業者をお探しください。
※市では引き取りができないので、民間の業者をお探しください。

資源の持ち去り



市内で、新聞紙などの資源の不法な持ち去りが見受けられます。目撃された方は、日時・場所・車両ナンバーなどの情報を生活環境課 558-1111（内線 2511～2513）へご連絡ください。また、持ち去り防止のため、資源などの排出の際には、必ず自宅敷地内の道路際に出してください。



生ごみで作った堆肥から咲いたグロキシニアだよ!

森っこサンちゃん



収集業者さんからのメッセージ

ごみ収集をしていると、水切りが不十分と思われる可燃ごみをたくさん目撃します。ごみを出す前に水切りを行えば、ごみの減量にも繋がります。焼却処理する際の燃料もかからなくなります。

また、資源になるような紙類が可燃ごみ袋に混ざっているケースも目立ちます。以前に比べれば、資源ごみとして出ている紙類も増えてきましたが、可燃ごみとして出されている紙類もまだまだ多いです。たとえば、チョコレートの箱など名刺サイズ以上の紙はリサイクルできますので、可燃ごみとしてではなく、資源の紙類として出してください。皆様ひとりひとりがごみの減量に心がけていただくためにも、水切りと資源になる紙類の分別をよろしくお願いたします。（T.U）